

2022年度版 社会科（地域学習）資料集

わたしたちのふるさと

広野町



広野町教育委員会

ひろのおんど 広野音頭

作詞 額賀誠志
作曲 佐藤長助

一 花は八幡 向いは農場 合わせ鏡の二つ沼 ※現在は「二ツ沼」

(※) トントン チリチリ トンカラコ 広野は広野はよいところ ハーキテミセエ

二 ござれみなされ 実験場いや 農工一如の華がさく

(※)

三 夢の高倉 朝立つ雲に 旭照り映う 日の出松

(※)

四 浅見川原の 河鹿になかれ 行こうか桜田 思案橋

(※)

五 日の出松なら 血を吐くおもい 今日も来てなく ほととぎす

(※)

六 あゆがおどれば 流れがはやす 折木湯の町 灯がまねく

(※)

〔「広野町史資料編 第二集」より〕

昭和15年(1940年)ごろから、町の人に歌われているんだよ！
調べてみると、歌詞が「12番」まで残っていて、歌詞の一つ一つに広野町の歴史や有名な場所が残されているね。東日本大震災後に音楽が少しかわって、新しくなったからタブレットを使って見てみよう！

【広野音頭】



☆ みんなが住んでいる「広野町」ってどんなところ？ ……1

1 わたしのまち みんなのまち

(1) わたしたちの広野町 …… 3

- 広野駅のまわりの様子
- 南北に延びる高速道路とそのまわりの様子
- 工場が多いところ
- 学校が集まる場所
- 広野駅東側の様子
- 道路や鉄道の様子
- 海の近くの様子
- 田や畑が多いところ

(2) 古くからのこる建物や場所 …… 7

(3) みんなが利用するせつ …… 9

- 広野町公民館をたんけんしよう

2 はたらく人とわたしたちの暮らし

(1) 農家のしごと・工場のしごと …… 11

(2) お店ではたらく人のしごと …… 13

3 暮らしを守る

(1) 火事から暮らしを守る …… 15

- 火事がおきてから現場につくまで
- 火事の際の協力
- 消防団のしごと
- 火事にそなえたしせつやせつび

(2) 事故や事件から暮らしを守る …… 17

- 交通事故の発生場所とおもな原因
- 事件や事故がおきたときの通報
- 安全な暮らしを守るための活動や工夫

4 町の様子とかわってきた人々の暮らし

(1) 広野小学校のうつりかわりと広野町の様子 …… 19

(2) 昔の生活に使われていたもの …… 21

☆ みんなが住んでいる「福島県」ってどんなところ？ ……23

5 わたしたちの県 …… 25

6 住みよいくらしをつくる …… 27

(1) 水はどこから

(2) ごみのしよりと利用

7 自然災害から暮らしを守る …… 29

8 きょう土の伝統・文化と先人たち …… 31

(1) 残したいもの 伝えたいもの

(2) ふるさとの先人たち

9 特色ある地いきと人々の暮らし …… 33

(1) 大堀相馬焼をつくり続ける・双葉郡浪江町

(2) 国際交流に取り組むまち・郡山市

(3) 美しい自然を生かすまち・南会津郡檜枝岐村

広野町や福島県には、
どんな「ひみつ」が
あるのだろう？



★みんなが住んでいる ひろのまち 「広野町」ってどんなところ？

←至五社山

うえだごういせき
上田郷遺跡
しゅつどうもんどき
出土縄文土器

おもたきじんじや
大滝神社

きょうりゆうかせきはげんち
恐竜化石発見地

おりき ゆ
折木の湯

かめやまじんじや
亀山神社

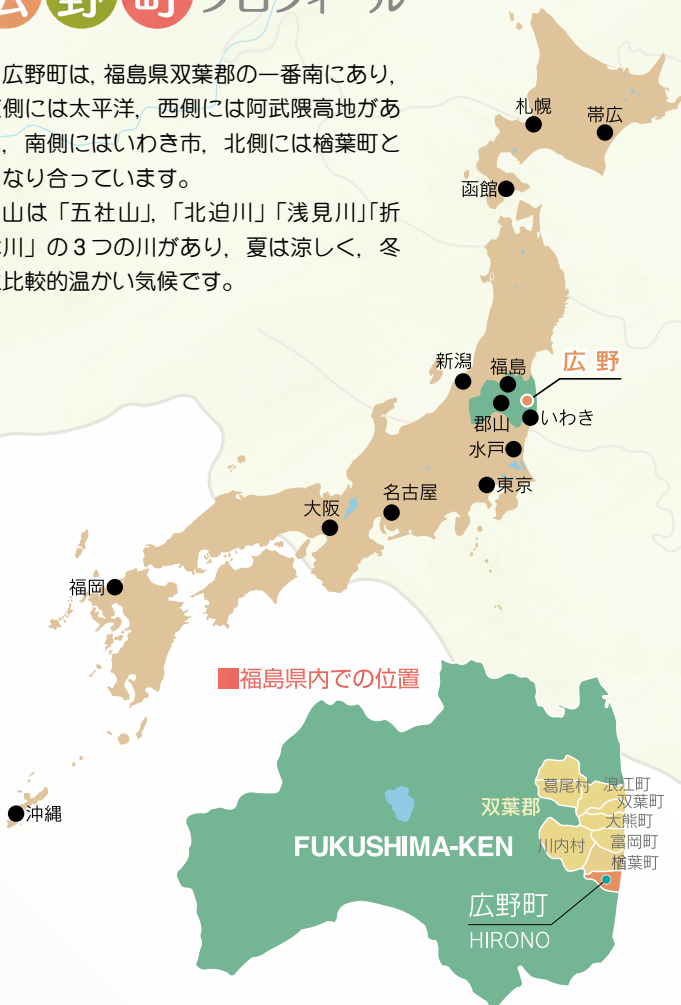
にしのさわためいけ
西ノ沢溜池

広野町プロフィール

■日本国内での位置

広野町は、福島県双葉郡の一番南にあり、東側には太平洋、西側には阿武隈高地があり、南側にはいわき市、北側には檜葉町ととなり合っています。

山は「五社山」「北迫川」「浅見川」「折木川」の3つの川があり、夏は涼しく、冬は比較的温かい気候です。



■福島県内での位置

FUKUSHIMA-KEN

広野町
HIRONO



2022年に広野中学校のお兄さんやお姉さんが広野町で働く皆さんや広野町の名所などについて調べたよ。タブレットを使って見てみよう！

【広野町ってどんな町マップ 2022】

【The 職業人】
ひろのしよくぎょうじんずかん
(広野職業人図鑑)



M A P



1 わたしのまち みんなのまち

(1) わたしたちの広野町

●^{えき}広野駅のまわりの様子



^{じょうくう}広野町を上空からドローンで
^{さつえい}撮影した写真だよ。

みんなが行ったことがある場所を
見つけられたかな？



●^{なんぼく}南北に延びる^{こうそくどうろ}高速道路とそのまわりの様子



●工場が多いところ



●学校が集まるところ



1 わたしのまち みんなのまち

●^{ひがしがわ} 広野駅東側の様子



●^{どうろ てつどう} 道路や鉄道の様子



●海の近くの様子



●田や畑が多いところ



1 わたしのまち みんなのまち

(2) 古くからのこる建物や場所 ※【 】の中は地区名



しもきたば えんめいじぞうぞんざぞう
【下北迫】延命地蔵尊坐像

てんめい だいききん
天明の大飢饉で亡くなった人たちを
くよう
供養するため、1788年に林蔵寺の和尚さん
りんぞうじ あしやう
が中心となって建てました。明治時代
めいじだい
のはじめごろに、日本で仏像やお寺を壊
うご
す動きがあり、林蔵寺に避難させたところ、
りんぞうじ ひなん
下北迫のまちが火災にあいました。
がさい
「地蔵様をうつしたからだ」という村人
じぞうさま むらびと
の声により今の場所に戻されました。



しもあさみがわ かしまじんじゃ
【下浅見川】鹿島神社

ひたちのくに かしまじんじゃ いばらきけん
866年に常陸国鹿島神社（今の茨城県）
かしま たけみかつちのみこと ふつ
から神様を迎え入れ、武甕槌命・経津
ぬしのかみ かさま じんじゃ
主命（男の神様）をまつっている神社で
ひがしにほんだいしんさい じんじゃ つなみ
す。東日本大震災により神社は津波にあ
いきました。4月8日の祭日には神社から
さいじつ
お神輿が出て町内を練り歩いた後に、海
みこし ちょうない ね ある あと
に行つて「浜下り」をします。



おりき たかくらじょうあと
【折木】高倉城跡

ひょうこう
標高122.5mのただの山ではありません
たかくらやま
。昔、高倉山にはお城がありました。
ひろのまち いわきし とのさま しはい
広野町あたりを岩城氏という殿様が支配
しており、1474年にその岩城氏による支
配を受けて猪狩筑後守（猪狩氏）が高倉
いがりちくこのかみ いがりし たかくら
城を治めていました。

その後、戦いが起こり、この土地が
さたけし いがりし
佐竹氏のものとなり、猪狩氏も離れてし
てきました。今でも敵の侵入を防ぐため
てき しんにゆう ふせ
の土塁の跡が残っています。



かみきたば ならははちまんじんじゃ
【上北迫】榎葉八幡神社

むかし みなもとのよりよし むすこ
昔（平安時代ごろ）源頼義とその息子
はちまん たろう どうほくちほう はんらん
（八幡太郎）が東北地方の反乱をしずめ
るために、その途中に建てられました。
しゅっぱつちん かまくら かながわけんかまくらし
出発地点の鎌倉（今の神奈川県鎌倉市）
から、五里（約20km）ごとにこのような
じんじゃ
神社が建てられ、いわき市植田に「植田
はちまん
八幡」、いわき市平に「飯野八幡」、さら
に五里はなれた広野町に「榎葉八幡」が
た
建てられました。



かみきたば ふた ぬまごせんじょうあと
【上北迫】ニツ沼古戦場跡

1868年7月26日、ニツ沼周辺で激しい戦いが繰り広げられました（ニツ沼の戦い）。江戸時代の終わりだったこのころ、全国各地で大きな戦い（戊辰戦争）が行われ、旧幕府軍と新政府軍に分かれて戦いました。今でもニツ沼の底には、そのときの鉄砲の玉などが沈んでいると伝えられています。この戦いで多くの兵士が亡くなりましたが、村人たちは、林蔵寺に仙台藩（今の宮城県）、修行院に長州・安芸藩（今の山口県・広島県）の兵士を供養しました。その時の村人たちは、敵や味方関係なくすべての兵士を供養していたのです。



おりき とうぜんじ
【折木】東禅寺のトンネル

1898年（明治31年）ごろに、日本鉄道（日本で初めての民間の鉄道会社）によってつくられた「レンガ造り」の近代建築物です。その後、日本国有鉄道（国鉄）によって、鉄道が電気によって動くような現在のしくみが進み、このトンネルに配線を通すことが難しいので、現在の新しいトンネルがつけられました。

この東禅寺トンネルは、トンネルを抜けて田んぼが見える風景を唄った童謡「汽車」の歌詞との関わりも深いと言われています。



倒れる前の松の様子



現在も残る神社と松の子孫

しもあさみがわ おうしゅうひ の で まつ
【下浅見川】奥州日之出の松

浅見川の河口に大きな松の木がありました。2004年（平成16年）の台風により、木は倒れて枯れてしまいました。現在植えてある松は、枯れてしまった松の子孫です。

倒れてしまった松には「安寿と厨子王」の物語に関係する様々な言い伝えがあります。昔磐城の殿様が家来にころされる出来事がありました。その家来から逃げるために、殿様の奥さんと男の子、女の子の2人の子ども（安寿と厨子王）、乳母の竹女さん（広野出身）は旅に出ます。そのときに、みんなと離ればなれになった竹女さんは、ふるさと広野の海岸に流れ着き、亡くなってしまいました。その場所に村人たちが一本の松を植えました。数年後、松に五色の蛇が絡みついたので、木を切ろうとすると中から赤い血が流れたので、人々は「奥州血の出の松」と呼ぶようになりましたが、現在は「奥州日之出の松」と言われるようになりました。

1 わたしのまち みんなのまち

(3) みんなが利用するしせつ

● 広野町公民館をたんけんしよう

みんなが利用する広野町公民館にはどんなお部屋があるのでしょうか。探検してみましよう。

【広野町公民館 へいめんず 平面図】



1階



2階



2階にある「大会議室」の写真です。公民館で一番大きなお部屋です。ここでは、多くの人が集まって会議をしたり、歌を歌う活動を行ったりしています。

公民館の東側がよく見える窓があって広野中学校や文化交流施設、太平洋が一望できます。電気の照明もおしゃれです。



2階にある「和室」の写真です。階段を上って正面にあるお部屋です。ここには、たたみがしいてあり、箏やお茶の活動をする人がよく使います。

公民館の南側がよく見える窓があるので、しょうじをあけると、体育館や駐車場、芝生がはえている丘がよく見えます。

公民館のように多くの人が使う施設には、体の不自由な方やお年寄りのみなさんが安心して使えるような工夫がたくさんありますよ。

みなさんが登校してくる通学路や学校のまわりにはどんな工夫があるか調べてみましょう。

公民館は、東日本大震災後の2014年(平成27年)にリニューアルされたよ。公民館には「だれ」のことを考えた「どんな」工夫があるのかな？



たもくてき
多目的トイレ



こうみんかん
公民館の入り口



かいだん
階段を上るためのリフト



エーイーディー
AED

ひろのまち こうみんかんちよう 広野町公民館長さんのお話

公民館は、小学生から大人まで多くの人が利用しています。切り絵教室や書道教室、料理教室、囲碁教室などが行われ、みんなが集まる場所となっています。

地震がおきたり、台風が来たりしたときは、避難所として使われることもあります。2014年(平成27年)に建物を新しくするためにたくさんのお金がかかりましたが、国や町の税金を使って建てられました。これからも多くの町民が明るく生活できるために、公民館を使ってほしいですね。



囲碁を楽しむ町民のみなさん

2 はたらく人とわたしたちの暮らし

(1) 農家のしごと・工場のしごと

広野町の農業は、米作りが中心です。農家の人には、おいしい米を作るために多くの工夫や努力があります。特に、東日本大震災後に、農業をもう一度広野町ではじめようとする時には食べる人の「安心・安全」を考えた取り組みが行われました。農家さんのしごとについて調べてみましょう。

米づくり農家さんの1年間のしごと

月	作業	水管理
1月		
2月	土作り	
3月		
4月	苗床準備 種籾準備	
5月	播種 基肥・代掻き 田植え	深水
6月		浅水
7月		中干し
8月	穂肥	間断かんがい
9月		落水
10月	刈り取り 乾燥・調整	
11月		
12月	土作り	

水の管理や田植えをした後の雑草の管理がとてもたいへんなしごとで、とくに注意しています。

米づくりを行う農家さんは、1年間かけて秋の収穫に向けて作業をしています。安心・安全なおいしい広野米をつくるために農家さん同士で話し合いながら、やり方を工夫し、おしごととしています。

広野町の小中学校の給食にも広野町産「特別栽培米」が使われています。



4月から5月にかけて育てた苗を、水をはった田んぼに植えていきます。ロボットやGPS機能を使う「スマート農法」を取り入れることで自動で真っすぐ植えることができます。



できるだけ農薬を使わないように、あひるをつかって田んぼの草をとることもあります。

2011年に起きた「原子力発電所の事故」により、
 広野町の農業は大きな影響を受けました。放射線
 の問題により、田んぼや畑がよごれてしまったか
 らです。しかし、広野町の農家のみなさんはあきら
 らめず、田んぼをきれいにすること（除染）をく
 りかえし、米づくりをもう一度はじめることがで
 きました。

食べる人が安心・安全に食べることができるよ
 うに「全量全袋検査」が行われ、収穫したすべて
 のお米の放射線量を確認しています。最近では、
 新しい農業のやり方にもチャレンジし、ロボット
 やドローンを使いながら、お米や野菜を作る農家
 さんもふえてきました。

また、2018年から二ツ沼総合公園でバナナをつ
 くるしごともはじまりました。お米や野菜、みか
 ンだけでなく、バナナにも注目です。みなさんも実
 際に、田んぼや畑、ビニールハウスに行ってみて
 農家さんのしごとの工夫をさがしてみましよう。



ドローンを使って上空から肥料をまく準備
 をしている農業関係者の方々（2021年）



二ツ沼総合公園のトロピカルミュージアム
 でバナナの木を初めて植える様子（2018年）



ひろのちょうない たんけん
 広野町内の田んぼを探検したら、
 おもしろいものを発見したよ。
 これはいったい何だろう？



広野町で米づくりをする農家さんのお話

広野町では2013年（平成25年）から本格的に米づくりがもう一度はじまりました。
 わたしは「米づくりが避難した農家の希望にな
 れば…」と思い、2012年から少しずつ米づくり
 をはじめましたが、そのころはお客さんからの
 注文は大きくへっていました。

でも、最近では全国からの注文もふえており
 「広野のお米はおいしい」と評判です。これか
 らも安心して安全なおいしいお米を日本全国にと
 どげられるようにがんばります。



全量全袋検査後に全国に届けられる「ひろの米」（2020年）

2 はたらく人とわたしたちの暮らし

(2) お店ではたらく人のしごと

広野町には、広野駅前に昔からあるお店が集まっています。広野町商工会と協力しながらお店を経営しています。また、町内でとれた野菜や果物などを売っている二ツ沼の直売所、コンビニエンスストア、スーパーマーケットなどのお店もはじまりました。それぞれのお店ではどのような工夫をしているのでしょうか。お店のしごとについて調べてみましょう。



お昼や夕方になると、駐車場がいっぱいになるんだよ。だれがどんな物を買いに来ているのかな？



「1袋に6個入ったもの」と「1つだけで売っているもの」がありました。他の商品も何種類かの売り方がありました。みなさんならどちらのりんごを買いますか。



売り場で野菜をならべている店員さんの様子です。お客さんが商品をとったスペースに、後ろの商品を前に出しています。次に買う人が買いやすくするための工夫ですね。



ちょうどよい温度で冷やす工夫があります。



売り場を伝えるための表示がありますね。



お店に並べられる「フィリピン産」バナナ

「フィリピン産」や「JA東西しらかわ」など
 お店には国内外から商品がとどけられています。
 商品をよい状態でお客様にとどけるために、売る
 日にちを考えて、その日の朝に野菜や果物が届く
 ような工夫もしています。

また、ひなまつりやクリスマス、お正月などの
 季節の行事に合わせた商品をならべたり、お店の
 レイアウトも工夫したりしています。

お客さんの中には、いちごを食べるときにミルク
 を使う人もいます。その人が他の場所に行かなく
 てもよいように、いちご売り場の近くにミルク
 をおくこともあります。お客さんがどんなことを
 考えて買い物するのかを予想して、買い物をしや
 すいように商品を並べています。

実際にお店に行って、店員さんにインタビュー
 したり、それぞれのお店のよさを比べたりすると
 また新しい発見があるかもしれませんね。



「JA東西しらかわ」の箱に入ったいちご

はっけん いどうはんばいしゃ
発見！ 広野町を走る移動販売車

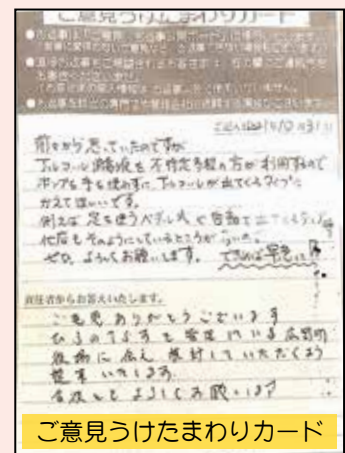
町内にあるコンビニエンスストアでは、移動販売
 車を使ってお店ではない場所で商品を販売していま
 す。車を運転しないお年寄りや買い物に行けない町
 民のみなさんには、とても助かります。インターネット
 を使ったネット通販も増えており、多くの人に合
 わせた売り方が行われるようになっています。



移動販売車に積まれた商品の数々

てんちやう
スーパーマーケットの店長さんのお話

東日本大震災後は、一人暮らしの方や高校生などのお
 客様が増えました。もちろん、家族が必要な物を買う町民
 の方も多いので、ここで買いそろえることができるよう、
 商品の品揃えに気を付けています。また、お客様の意見を
 「ご意見うけたまわりカード」に記入してもらい、入口に
 掲示しています。きびしいコメントをいただくこともあり
 ますが、一枚一枚全てを読んで言われたことをすぐになお
 すようにしています。商品（野菜や果物など）を作った人
 から、大切な商品をあずかり、お客様にしっかりと届けら
 れるようがんばっています。



ご意見うけたまわりカード

3 くらしを守る

(1) 火事からくらしを守る

火事からわたしたちのくらしを守るために、どんな人たちが、どんなはたらきをしているのでしょうか。広野町の場合について調べてみましょう。



広野町で山火事がおきたときの様子だよ。「消防本部」という文字が見えるから、消防士さんが来てくれているみたいだね。

でも、消防署の方だけで、夜におきた山火事が何とかなるのかな？
どんな人が協力しているのだろう？



●火事がおきてから現場につくまで



119番の通報が入ると、このモニターに火事がおきた場所が表示され、近くの消防署の消防車が出動するシステムになっています。



この部屋に連絡が入ると、おしごとしている消防士さんがすぐに準備をして、火事がおきた場所にかかけつけます。

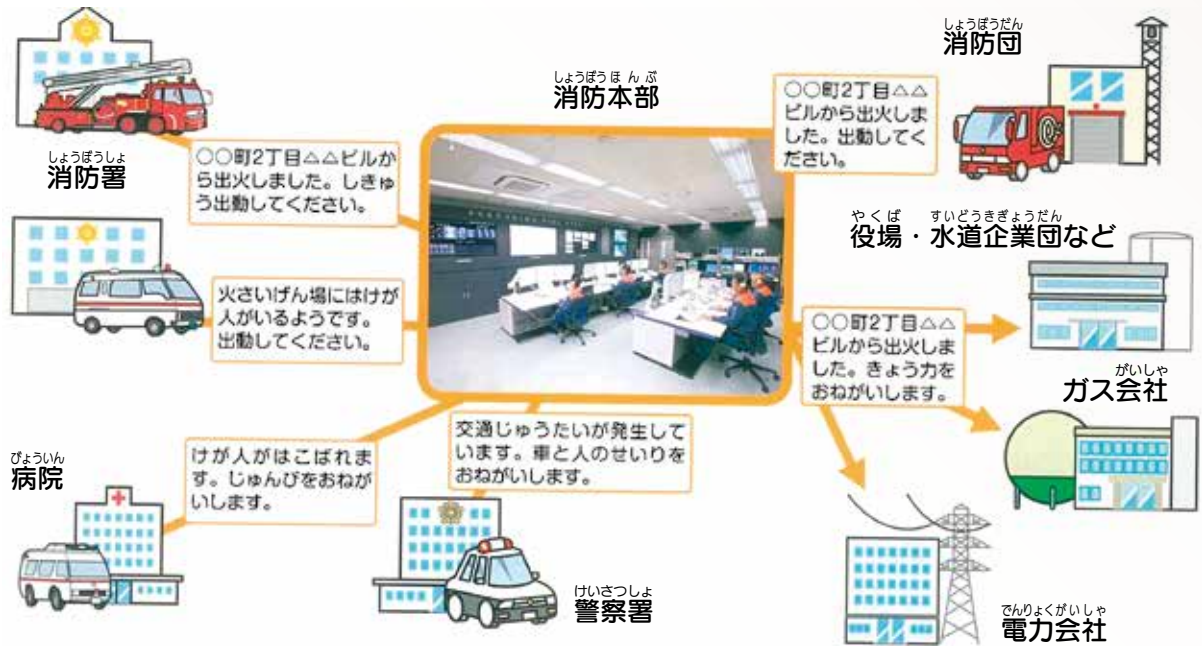


泊まりのときも連絡が入るとすぐに準備します。でもどうしてこんなに整理整頓してあるのでしょうか？



いつも道具を点検・整理し、いつでも出動できるように準備をしています。

●火事の際の協力



●消防団のしごと



ホースをつないで水を出す訓練をしています。



火事の際にもかけつけ、消火活動を行います。

●火事にそなえたしせつやせつび



消防団のポンプ車などが入っています。



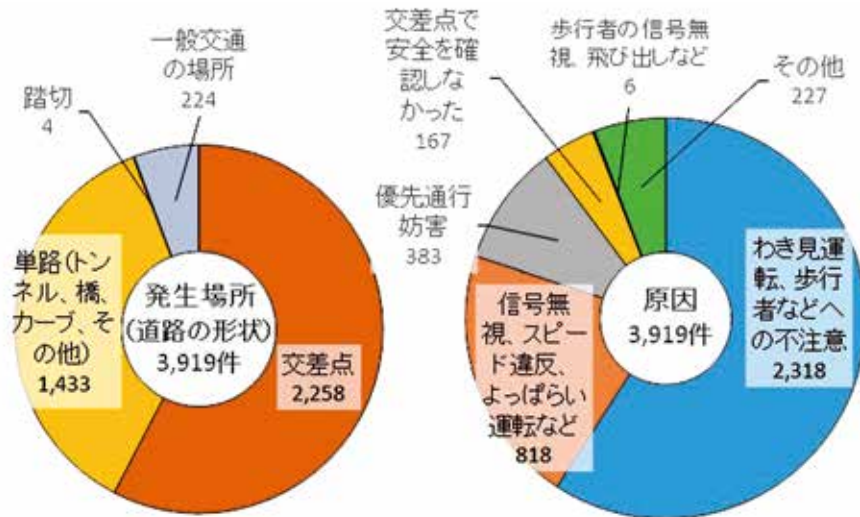
役場職員さんと消防団員さんが消火栓の看板を立てています。



3 くらしを守る

(2) 事故や事件からくらしを守る

● 交通事故の発生場所とおもな原因 (2019年)

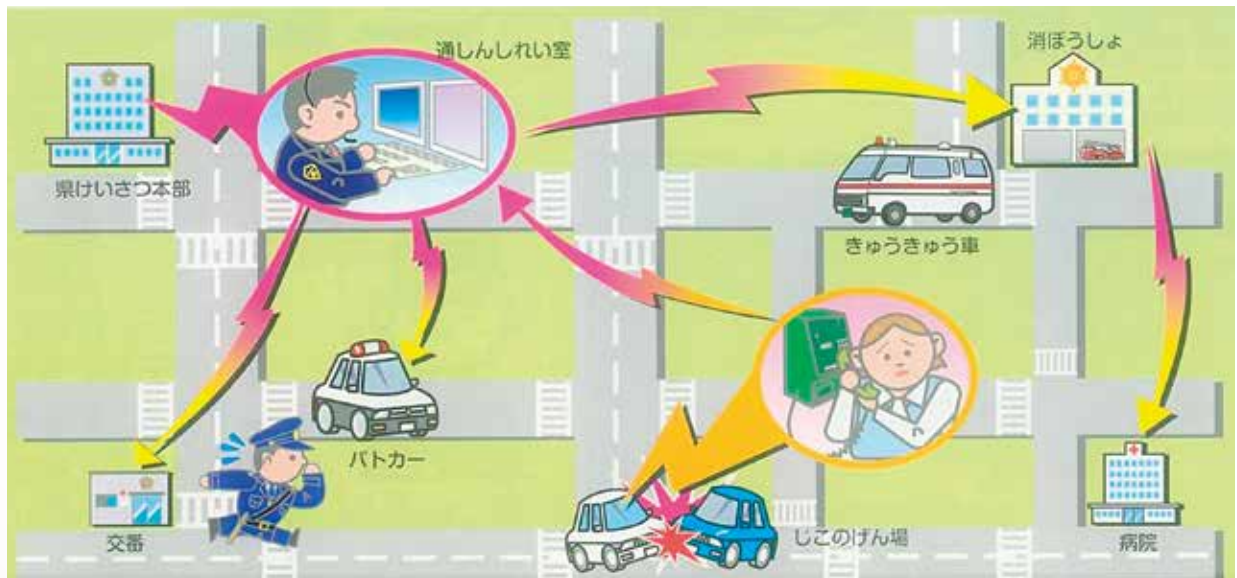


交通事故は、交差点で発生する機会が一番多いね。事故がおきたときは、だれがどんなことをしているのかな？そして、もっと事故をへらすにはどうすればよいのだろう？



福島県警察本部「交通白書」より

● 事故や事件がおきたときの通報



事故現場にかけつける警察署のみなさん

110番の電話は、県警察本部の通信指令室につながります。その内容を受けて、交番（駐在所）やパトカー、消防署、病院など関係するところに連絡が入り、協力して事故の対応をします。できるだけ早く事故や事件の現場に行って調査したり、みなさんの安全を守ったりしています。

あんぜん
●安全なくらしを守るための活動や工夫



とうこう みまも こうつうしどういん
登校するときに見守ってくれる交通指導員の方



こうつうりょう ばしょ せっち かんばん
交通量が多い場所に設置された「スピード落せ」の看板



がっこう とうろ
学校の前につくられた色のついた道路



つうがくる きけん ばしょ かくにん つうがくるこうどうてんけん
通学路の危険な場所を確認する「通学路合同点検」

ひがしにほんだいしんさい ひろのまち がっこう
東日本大震災のあと、広野町で学校がは
じまるときに、みなさんが安心して登校で
きるように、多くの方が協力しています。
国道6号線を走る車の数も多くなり、歩い
て学校に通う子どもたちの数もふえてきま
した。

安全に登校できるように、警察署のみな
さんや学校の先生、道路を管理している方
などが集まりみんなで通学路を点検したり
、看板やキッズゾーンをつくったりして
います。また、交通指導員さんや地域の
見守り隊のみなさんに、横断歩道や車がよ
く通る場所に立ってもらい、みんなが安全
に通学できるようにしています。

何げなく歩いている場所でも、実は「安
全なくらしを守る工夫」がたくさんありま
すから、ぜひ調べてみましょう。

ちいき あんぜん かっどう
地域の安全を守る活動をしている方のお話

2011年の東日本大震災のあと、広野町の生活は大きく変わりました。放射線の問題
だけでなく、交通事故を防いだり、事件にまきこまれたりしないように、みんなで地
域を見守っていくことが大切です。私たちは、子どもからお年よりまで安心して生活
できるように自分たちの住んでいる地域の安全を守っています。小学生のみなさんに
元気にあいさつされると私も元気が出ます。これからも事故やけがに気をつけて元気
に生活してくださいね。

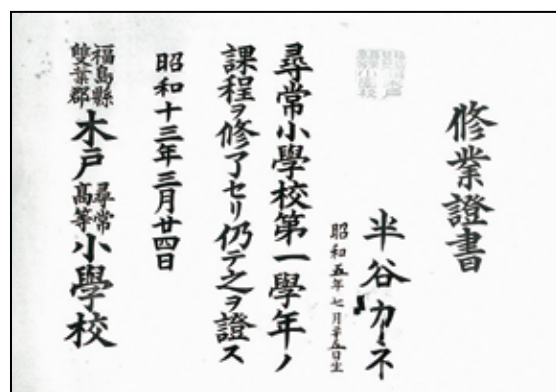
4 町の様子とかわってきた人々の暮らし

(1) 広野小学校のうつりかわりと広野町の様子

年号	できごと
1873 (明治6年)	北迫村林蔵寺に習成学校ができる。
1877 (明治10年)	北迫村西町にうつり、北迫小学校となる。
1889 (明治22年)	・夕筋・折木・上浅見川・下浅見川・上北迫・下北迫の6つの村が合併し「広野村」ができる。 ・「広野尋常小学校」と名前を変える。
1900 (明治33年)	現在の築地ヶ丘公園のある場所にうつす。
1902 (明治35年)	広野尋常高等小学校と名前を変える。
1940 (昭和15年)	広野村から「広野町」へ変わる。
1941 (昭和16年)	広野町国民学校と名前を変える。
1945 (昭和20年)	大きな戦争（第二次世界大戦）が終わる。
1947 (昭和22年)	・新しい学校制度が始まる。 ・広野町立広野小学校と名前を変える。
1980 (昭和55年)	広野火力発電所ができる。
1987 (昭和62年)	現在の場所に新しい校舎ができる。
1997 (平成9年)	Jヴィレッジができる。



昭和3年ごろの広野尋常高等小学校の写真です。現在の広野駅の北側あたりから撮影されたといわれています。下の写真は、学校の近くの「天神山」で絵を描く授業の様子です。



昭和13年3月24日に修了した1年生の修了証書です。

左の写真は、その頃に使われていた教科書です。当時教科書は自分で買っていました。



1964年（昭和39年）の東京オリンピックを記念して、校庭で全校生が並んで撮影された写真です。現在の築地ヶ丘公園の場所に小学校がありました。写真の左側に見える白い屋根の建物が中学校の体育館です。



1970年ごろ（昭和45年ごろ）の小学校の校外学習の様子です。駅前通りにある「まるや」さんの前の横断歩道で撮影された写真です。

家の屋根や建物の様子は少し変わっていますが、この道路は今も使われています。



入学式に向かう親子たち（1975年ごろ）



小学校の運動会の様子（1984年）



1989年（平成元年）ごろの広野小学校周辺の様子



こども園もふたば未来学園もなく、総合グラウンドやテニスコートだけが見えるね。大震災で津波が来る前の写真だから、海の方の様子も今とは少し違っているね。

4 町の様子とかわって来た人々の暮らし

(2) 昔の生活に使われていたもの

昔の生活にはどんな道具が使われていたのでしょうか。みんなでさがしてみましよう。

● すみび 炭火アイロン



【100年以上前】

中に火のついた炭すみを入れて、その熱ねつで布などのしわをのばす道具。ふたは開け閉めできるようになっていて、煙突えんとつと持ち手がついています。後ろには火加減を調節するための窓、側面にはたくさんの空気穴くうきあながあいています。



● しちりん 七輪とうちわ

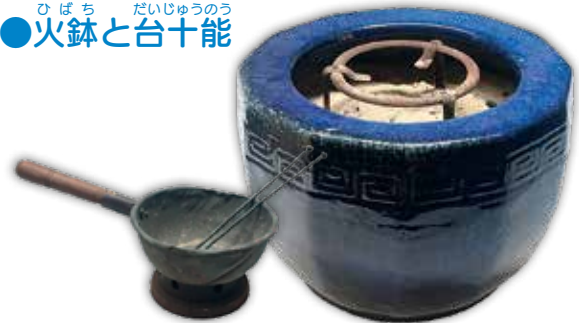
【100年以上前～1960年代】

魚さかなや餅もちなどを焼く時に使うコンロ。木炭たんや豆炭まめたんなどを入れて火をつけます。うちわひかげんであおいで火加減ちようせつを調節げんします。現在げんざいでも、バーベキューすみをするときに炭すみを使って食べ物やを焼くことがありますね。

広野でもこれらの道具どうぐを使っていたんだって。今の道具どうぐと比べてみるとどんなことが分かるかな？



● ひばち だいじゅうのう 火鉢と台十能



【100年以上前～1950年代】

火鉢ひばちは、火のついた炭すみで部屋へやや体あたまを温めたり、鉄びんてつを保温ほおんしたりする道具どうぐ。台十能だいじゅうのうはかまどしちりんや七輪すみから炭すみを運ぶ道具どうぐで、壺たみの上うへなどに置く時の鍋敷なべしきの役割やくわりをする台だいがついています。

● かいてん 回転ごたつ



【100年以上前～1960年代】

金属製きんぞくせいの器うつわに火のついた炭すみを入れて使う暖房器具なまふぐき。間違まちがって転ころがしてしまっても、中の器うつわは常に上うへを向いているので火事かじの心配しんぱいがなく、安心あんしんして使うつかことができました。今では、炭すみを使うことがほとんどなく電でん気が使つかわれていますね。



●黒電話

【1960年代】

ダイヤルを回して番号を入力します。この電話ができるまでは、電話局の「交換手」に相手の番号を伝えて呼び出してもらった。「磁石式電話機」が使われていました。「プッシュ式電話機」の登場により、さらに早く電話をかけられるようになりました。

●飯ふごと飯びつ



【100年以上前～1960年代】

かまどで炊いたご飯は、木の飯びつにうつし、ワラで作られた飯ふごに入れて保温しました。

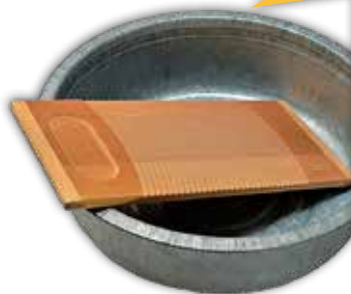
●柱時計



【100年以上前～】

部屋の壁や柱に取り付ける時計。ゼンマイというバネを巻くと、中の振り子が左右にゆれて時計が動くしくみになっています。

●たらいと洗濯板



●手回し洗濯機



【100年以上前～1960年代ごろ】

電動の洗濯機が登場するまでは、井戸や川の近くへ行って、たらいと洗濯板を使って洗濯をしていました。金属製のたらいが広がるまでは木製のたらいが使われていました。1930年代ごろには、手回し洗濯機を使うお家もありました。

●ちゃぶ台



【100年以上前～1960年代ごろ】

食事をしたりお茶を飲んだりするときに使う机。使わないときには、脚を折りたたんでしまっておきます。

★みんなが住んでいる ふくしまけん 「福島県」ってどんなところ？



ふくしまけん とうほくちほう いちばんみなみがわ
 福島県は、東北地方の一番南側に
 あるんだよ！ 広野町は福島県の東側
 にあり、太平洋に面しているよ。



福島県には、大きな山や湖
 がたくさんあるんだね。特に
 猪苗代湖は日本でも4番目に
 大きな湖なんだよ！

福島県の位置

●福島県の高い山(高さ)

ひらちがだけ 燧ヶ岳	2,356m
こまがだけ 駒ヶ岳	2,133m
いいでさん 飯豊山	2,105m
だいくらたかやま 台倉高山	2,067m
みついわだけ 三岩岳	2,065m

資料出所：国土交通省国土地理院
「日本の山岳標高一覧」

●福島県の長い川(長さ)

あぶくまがわ 阿武隈川	181km
ただみがわ 只見川	145km
あがのがわ 阿賀野川	145km
いながわ 伊南川	80km
なついがわ 夏井川	67km

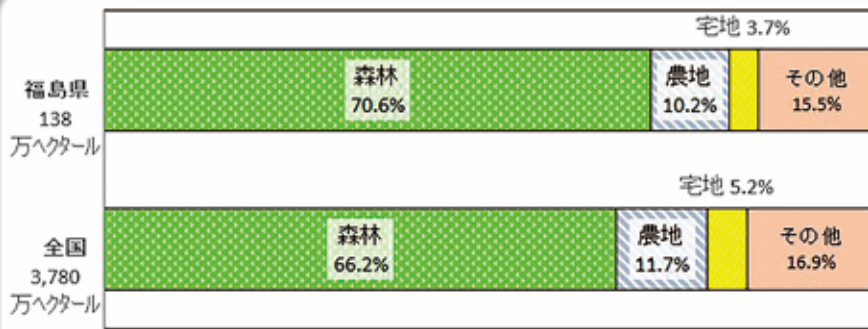
資料出所：県河川計画課
「河川調査」

●福島県の広い湖(面積と周りの長さ)

いなわしろこ 猪苗代湖	103.24km ²	50.40km
ひばらこ 桧原湖	10.86km ²	38.00km
まつうらかわ 松川浦	6.17km ²	22.60km
あきもとこ 秋元湖	3.52km ²	19.90km
ぬまさわこ 沼沢湖	2.99km ²	7.50km

資料出所：国土交通省国土地理院「全国都道府県
市区町村別面積調」、環境省「湖沼調
査報告書」

とちりよう ようす 福島県の土地利用の様子（2018年）

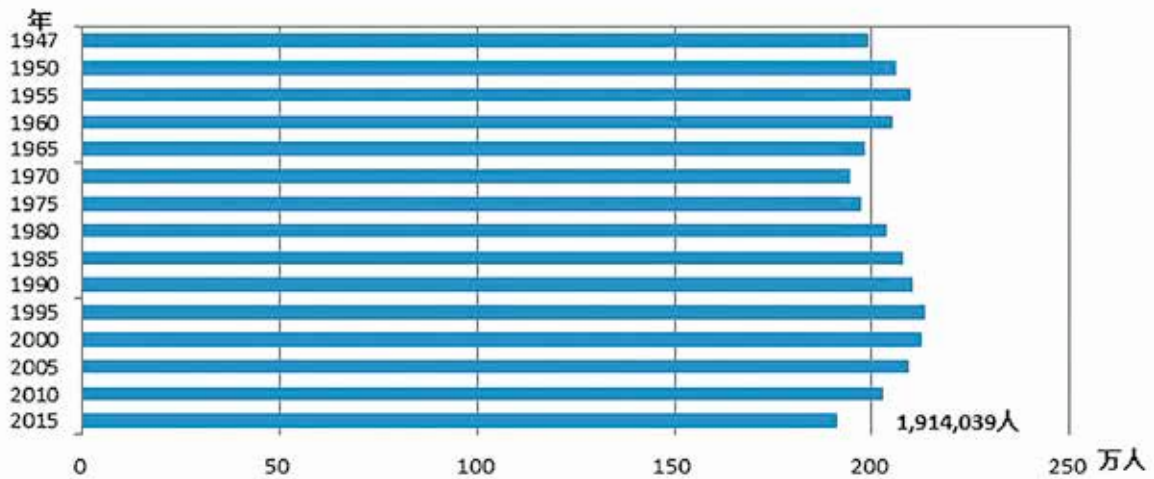


国土交通省「土地利用現況把握調査結果」より

福島県と全国を比べると何かちがいはあるかな？

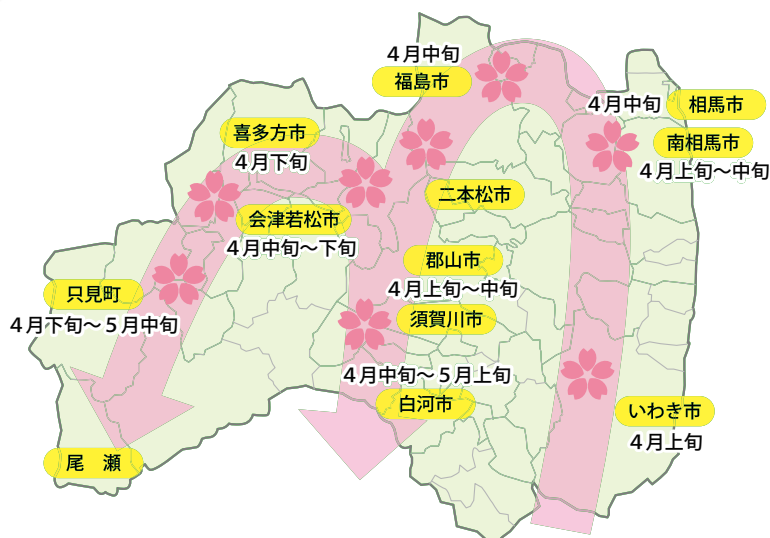


じんこう 福島県の人口のうつりかわり



総務省「国税調査結果」より

さくら じき 福島県の桜がさく時期



福島県のホームページより

いわき市から南相馬市の方へ桜がさき始めるんだね。広野町も4月の入学式ぐらいに桜がさいているね。

でも、^{なかとお}どうして中通りと^{あいちゅうほう}会津地方は北から南に向かって桜がさくの难道う？



5 わたしたちの県

ふくしまけん しちょうそん ちほう
 福島県の市町村とそれぞれの地方（2022年3月現在）



ふくしまけん
 福島県は、大きく3つに分かれているよ。相双といわきを「**中通り**」、**県北**と**県中**、**県南**を「**中通り**」、**会津**と**南会津**を「**会津**」とよぶことがあるよ。天気予報のニュースで聞いたことがあるかな？

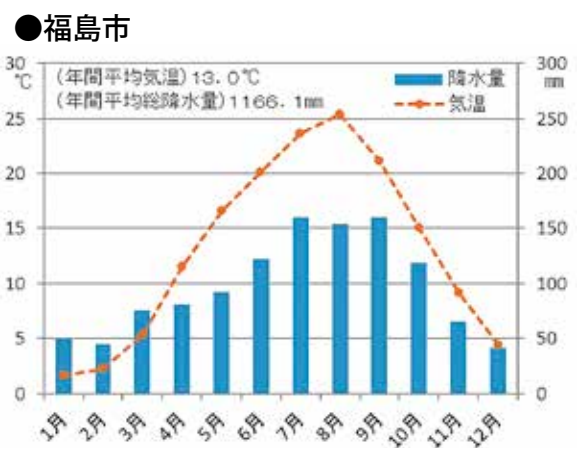


【県北地域】

中通りの北部に位置し、4市3町1村（福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村）で構成され、県庁所在地である福島市を中心に、行政、教育・文化、医療などが集中しています。

また、吾妻・安達太良連峰、阿武隈高地や飯坂温泉をはじめとした数々の温泉地などがあり、もも、りんご、なしなど全国でもくだものの産地として有名です。

月別平均気温と降水量 (1981年～2010年の平均)



気象庁「気象データ」より

【県中地域】

福島県の「ど真ん中」に位置し、高速道路や国道があつまる場所、新幹線停車駅や4つの在来線、福島空港など交通の便がよく、産業の中心を担う地域です。南北に流れる阿武隈川流域に広がる安積平野、西に猪苗代湖、東に阿武隈高地という豊かな自然もたくさんあります。広野町は小野町と交流しています。

【県南地域】

福島県の南部に位置し、新幹線や高速道路、空港からのアクセスも便利な、東北の玄関口となる地域です。夏はすずしく、冬は雪もそれほど多くありません。白河ラーメンや白河だるま、小峰城などが有名です。

【会津地域】

福島県の西部に位置し、まわりを山に囲まれた山国、雪国の文化と、江戸時代の会津藩をはじめとする歴史と伝統が息づく地域です。鶴ヶ城や会津本郷焼は全国的にも有名です。人口は約25万人で、面積はとても広く（約3,079平方キロメートル）、神奈川県（約2,416平方キロメートル）がすっぽり入ってしまうほどの大きさです。

【南会津地域】

会津地方の南部に位置し、ほとんどが森林で囲まれた地域です。尾瀬や只見ユネスコエコパーク、大内宿、日本三大祇園祭り「会津田島祇園祭」などが有名です。トマトやアスパラ、そばの名産地で、夏には登山、冬にはウィンタースポーツを楽しめる場所がたくさんあります。

【相双地域】

福島県の東部、太平洋の沿岸に位置する温かい地域です。常磐自動車道が2015年（平成27年）に全線開通しました。

地震・津波被害と原子力発電所の事故を乗り越え、地域の復興再生に向けて新たな人づくり、地域づくりを進めています。

東京2020オリンピック・パラリンピックの聖火リレーのスタート地点になった「Jヴィレッジ」もあります。

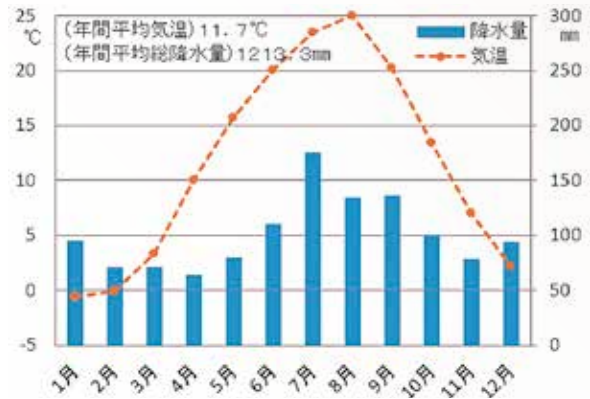
【いわき地方】

夏は涼しく、冬は温かい地域です。白水阿弥陀堂、勿来の関などの史跡やアクアマリンふくしま、塩屋埼灯台、マリンタワー、石炭化石館ほるるなどの施設があります。

水産業は、東日本大震災の影響を受けましたが、多くの方々の努力により、少しずつ元の状態にもどりつつあります。

月別平均気温と降水量 (1981年～2010年の平均)

●会津若松市

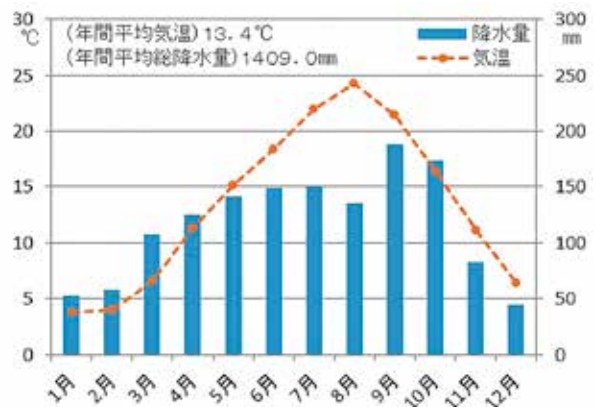


気象庁「気象データ」より



月別平均気温と降水量 (1981年～2010年の平均)

●いわき市



気象庁「気象データ」より

それぞれの地域を比べてみると、どんなことが分かるかな？



6 住みよいくらしをつくる

(1) 水はどこから

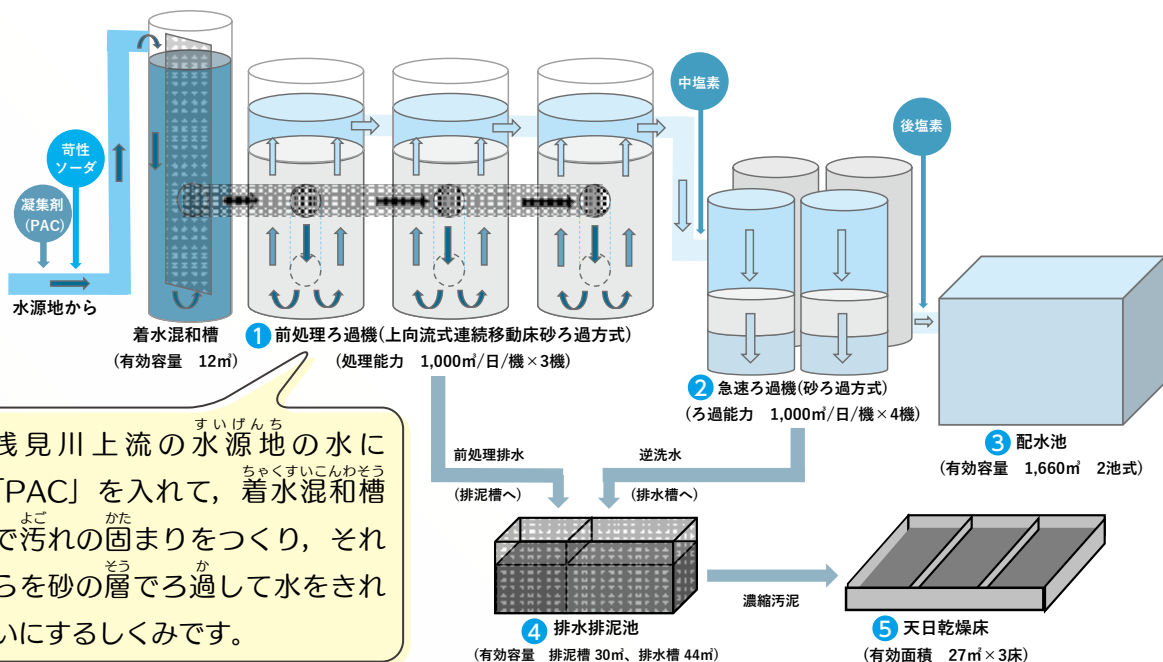
ひろのちやうない すいどうすい、あさみかわじやうりゆう、おおふなすいげんち、しゆすい、とっかめきちく
 広野町内の水道水は、浅見川上流にある「大船水源地」から取水して、土ケ目本地区
 がある「小滝平浄水場」で水をきれいにし、町内の大部分に供給しています。より安心で
 安全な水道水を供給するために、施設を動かしながら行ってきた工事が、令和3年10月29
 日に終わりました。

●小滝平浄水場とは

1964年（昭和39年）につくられ、緩速ろ過方式（ゆっくりと水をきれいにするしくみ）の浄水方法を取り入れていました。しかし、水道水を使う家庭がふえたため、1973年（昭和48年）に急速ろ過方式（速く水をきれいにするしくみ）の浄水方法へ切りかわりました。

東日本大震災のあとは、沈殿池に今までしずんでいたフロック（濁った部分の成分を固めたもの）が、一部ろ過機にまざってしまった状況だったため、それを防ぎ、水道水への放射性物質がまざらないようにするために工事を行いました。

●水をきれいにするしくみ



すいげんち
浅見川上流の水源地の水に「PAC」を入れて、着水混和槽で汚れの固まりをつくり、それらを砂の層でろ過して水をきれいにするしくみです。



(2) ごみのしよりと利用



なんぶえいせい
南部衛生センター

ごみが燃えている様子や温度を管理する中央制御室

広野町内で出されたごみは、檜葉町にある「南部衛生センター」に運ばれます。南部衛生センターは、2011年（平成23年）7月から再開していますが、ごみを処理しつつ東日本大震災により施設の壊れた部分を修理したり、施設内の放射線のよごれを落としたり（除染）する工事を行ってきました。

現在は、広野町、檜葉町、富岡町、川内村からのごみを処理しています。1日に50トンのごみを燃やすことができますが、煙をできるだけきれいにして出すよう気をつけています。

広野町では、少しでもごみを減らすために、いつでも住民が自分で資源ごみを出すことができる場所をつくっています。環境のことを考えて、少しでもごみを減らしたり、使えるものはもう一度使ったりすることが大切です。



ごみを集める日やその種類を伝えるカレンダー



やくば あつ ぶんるい しげん お ば ようす
役場に集められ、分類された資源ごみ置き場の様子

ならはまち なんぶえいせい しよくん 檜葉町の南部衛生センターで働く職員さんのお話

東日本大震災のあとは、とくに環境について考えるようになりました。人間が自由にごみを出し続けたり、電気をむだに使ったりすることが環境にとってよくありません。少しでもごみを減らすために次の5つのことが大切です。

- ① Refuse (リフューズ) … 「ごみになるものを断る」
- ② Reduce (リデュース) … 「ごみを減らす」
- ③ Reuse (リユース) … 「くり返して使う」
- ④ Repair (リペア) … 「ものを修理して使う」
- ⑤ Recycle (リサイクル) … 「資源化して再利用する」

みなさんもお家で少しでもごみを減らせるように工夫してみましょう。

かんきょう まも
環境を守ることは、地球全体で
きをつけられないとい
けないね!



7 自然災害からくらしを守る

「^{ひがしにほんだいしんさい}東日本大震災」と「^{げんしりょくはつでんじょ}原子力発電所の事故」が起き、これまで以上に広野町や福島県では、多くの人々が協力しながら、災害から住民の命や生活を守るための取り組みが行われています。では、どんな人がどこでどんな工夫をしているのかを調べてみましょう。



広野町の防災訓練の様子だよ。
地震や津波、原子力災害など
多くの場合を考えて訓練して
いるよ！

でも、この訓練にはどんな人
が、どんなことに気をつけて
参加しているんだろう？
写真を見ると、みんな真剣な
表情で、訓練を行っているね。



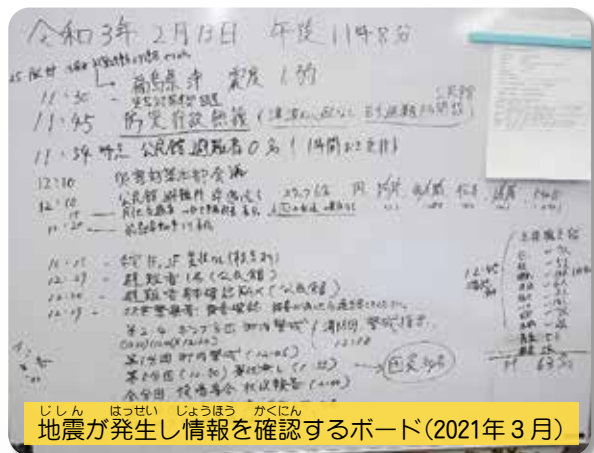
自然災害には、地震や津波、大雨による洪水や土砂くずれなどがあります。また、それが原因で別の災害（二次災害）がおきってしまう恐れがありますので、事前に準備しておく必要があります。

広野町では、このような災害が起きたときには、環境防災課の職員を中心にしながら、消防署や警察署、消防団などの人と協力し、住民が安全に避難したり、生活したりできるように気をつけています。東日本大震災のときには、地震や津波だけでなく、原子力発電所の事故もありました。予想できないこともたくさんありましたが、そのときも広野町役場の職員を中心に、お年寄りや子ども、体の不自由な方のことも考え、住民が安全に避難できるようにしました。

東日本大震災で経験したことを生かして、防災備蓄倉庫や防災マップ、避難所を知らせる看板などをつくり、自然災害がおきたときの被害をできるだけ少なくおさえられるように気をつけています。みなさんにもできることもいくつか考えてみましょう。



大雨により道路が崩れる浅見川(2020年1月)



地震が発生し情報を確認するボード(2021年3月)



食料や水、粉ミルクなどを備える防災備蓄倉庫



避難場所を知らせるために設置された看板



避難所内に小さなテントを設置する役場職員



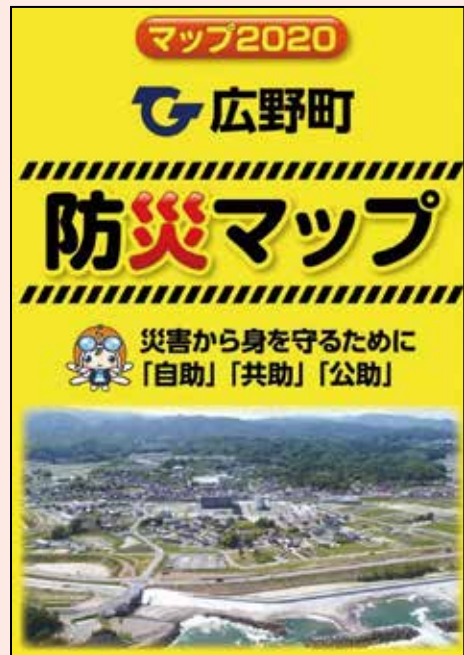
非常時に持ち出すもののチェックリスト(防災マップより)

ひろのまちやくば かんきょうぼうさいか しょくいん 広野町役場 環境防災課の職員さんのお話

広野町では、2020年に「防災マップ」を作成し、自然災害についての情報や避難場所、ハザードマップなどを住民のみなさんにお知らせしています。この本の表紙にもありますが、「自助・共助・公助」の3つが大切です。

- ① 自助…自分自身や家族の身を守ること。
- ② 共助…近所や地域の方々と助け合うこと。
- ③ 公助…町や消防、警察などにより助けられること。

まずはみなさんも何かあったときに「どんなことに気をつけるのか」「どこに避難するのか」「何を準備しておくのか」についてお家の人と話し合ってみるとよいですね。そして、町に住むみんなが安全に過ごせる広野町になることを願っています。



8 きょう土の伝統・文化と先人たち

(1) 残したいもの 伝えたいもの

福島県内には、多くの伝統行事や昔から伝わるお祭りがたくさんあります。東日本大震災と原子力発電所の事故により続けることが難しい時期もありましたが、多くの方々の努力によってそのほとんどが今でも続いています。

広野町の伝統行事や昔から伝わるお祭りについてもくわしく調べてみましょう。



おおたきしんじや かましんじやさいらい はまくだ しんじ
大滝神社・鹿島神社祭礼「浜下り神事」



かめやましんじや ひやくやまつ
亀山神社「百矢祭り」



したきたば
下北迫地区で行われる「地蔵講」



かくろく
各地区で行われていた「鳥小屋」



なら はちまんしんじや しんせんけんどうたいかい
榎葉八幡神社で行っていた「神前剣道大会」



えきまえど
駅前通りで行われた「サマーフェスティバル」(1989年)

(2) ふるさとの先人たち



ぬかが まこと せいし
額賀 誠 (誠志)

いわきくによつくらまち
1900年岩城郡四倉町
(今のいわき市) 生まれ

1937年(昭和12年) 医者がない村であった「広野村(この時は村だった)」に内科医院を開きました。1964年(昭和39年) 2月に亡くなるまで、献身的な医療活動を続け、町内はもとより近くの町村の住民からもとても信頼されていました。

また、医者をやりながら作詞家としても活躍しました。童謡『とんぼのめがね』は、額賀誠志のペンネームで作詞したもので、1951年(昭和26年) NHK東京放送『ラジオこどもの歌』の中で毎日歌われ、全国に広がりました。この歌詞は、昭和23年頃、病院から片道12kmほどはなれた山間部(箒平地区)に診察に行ったとき、その家の子どもがトンボとたわむれている様子をうたったものです。

広野村に病院を開いた頃には、作詞をする活動を行ってはいませんでした。大きな戦争が終わった頃(昭和21年頃)にもう一度始めました。そのときの理由を次のように話しています。

「戦後日本の子どもたちは、楽しい夢をのせた歌を歌えなくなった。子どもが、卑俗な流行歌を歌うのは、タバコの吸いぐらを拾ってのむのと同じくらい悲惨なものである。私が久しぶりに、童謡を作ろうと思ったのも、そんな世の中をなんとかしたいからである。私は子どもたちを信じ、日本国民の飛躍と将来をかたく信じたい。この子どもたちが、やがて大人になる頃には、おそらく世界は国境を越えて、全ての人たちが一丸となって愛情と信頼と平和の中に、世の中が発展する時代が来るであろう。その時に、若い日本国民が世界に大きな役割を果たすことを信じて、少しでも今日子どもたちの胸に、愛情の灯をつけておきたいのである。」

大きな戦争に負けてしまい、生きることに精一杯で、子どもたちが自由に楽しい歌を歌えない状況をなんとかしたい、童謡で子どもたちの心を豊かにしたい、そんな思いがこの言葉から伝わってきます。広野町では、その意志を受け継ぎ毎年「ひろの童謡まつり」を行っています。



ぬかがいん
当時の額賀医院の様子



つきじ おか せきひ
築地ヶ丘にある石碑



ふたい ほうきだいらちく
「とんぼのめがね」の舞台となった箒平地区

額賀さんは、福島県に重量挙げ(ウエイトリフティング)を導入し、協会の初代会長になったんだよ。



9 特色ある地いきと人々のくらしーふるさと福島

福島県内の人々は地域の特色をどのように生かして生活しているのでしょうか？

福島県に温泉が多いのはなぜだろう？



(1) 大堀相馬焼をつくり続ける・双葉郡浪江町

大堀相馬焼は300年以上の歴史をもつ焼き物で、青ひびの入った模様と馬の絵が特徴です。地元の人たちに深く愛され、江戸時代から受け継がれてきました。当時の相馬藩が財政を支えるために焼き物づくりをすすめて、浪江町大堀地区は江戸時代の終わりには100軒以上の窯元が並ぶ東北一の焼き物の産地になりました。

浪江町大堀地区の焼き物がこれほどまでに発展したのは、大堀地区で良質な材料がとれたことが大きな要因です。中でも釉薬の原料である砥山石は他の地域では採れない石であり、砕いて灰を混ぜるだけで釉薬をつくることのできる非常に便利な石でした。ふつうはいくつかの材料を配合する必要がありますが、その手間がいらぬ砥山石を産出したことが、大堀を焼き物の一大産地にした大きな理由だったといえます。

江戸時代の中ごろからは馬をモチーフにした絵が描かれるようになり、次の明治時代には持っても手が熱くならない「二重焼（二重構造）」という技法が発明される、というように、大堀相馬焼の伝統は時代ごとに新しいものを加えながら築かれていきました。

2011年3月に起きた「東日本大震災」と「原子力発電所の事故」により、大堀地区は放射線量が高くなり、多くの住民が県内外に避難しました。避難生活が長引く中で、約30軒あった窯元は再開しなかった窯のほうが多く、11軒程度になりました。しかし、オリンピック・パラリンピック東京2020大会の関連商品を作ったり、これまでに無いような新しいデザインを考えたり、他地域から後継者を募集したりするなど、伝統を絶やさぬよう新しい取り組みを行っています。



【大堀相馬焼の特徴】

- ①青ひび（青緑色の磁器にひびわれ模様）
- ②走り駒（馬が走っている絵）
- ③二重焼（二重構造）

上の写真（右）のように、湯呑みの間に空洞があり、お湯を注いでも持つときに熱くなく、冷めにくい特徴がある。



1300度の高温で焼く登り窯。焼き物を冷やすときに「チリン」と音を出し、ひびわれ模様ができる。

【写真：陶吉郎窯（いわき市で再開）】

大堀相馬焼協同組合長のお話

東日本大震災の後、多くの人が避難することになりました。

私たちが避難先で窯元を再開すると、昔をなつかしむ浪江町民がそこを訪れました。大堀相馬焼は、単なる伝統的工芸品ではなく「浪江の人と人をつなぐ」役割もしていたのだと思います。協同組合の拠点は浪江に移しますが、戻って窯を再開してくれる人がいればしてもらって、別の場所で再開した人には浪江の拠点に通ってもらって、そうやって大堀相馬焼が続いていくことを願っています。



大堀相馬焼を制作する職人さん

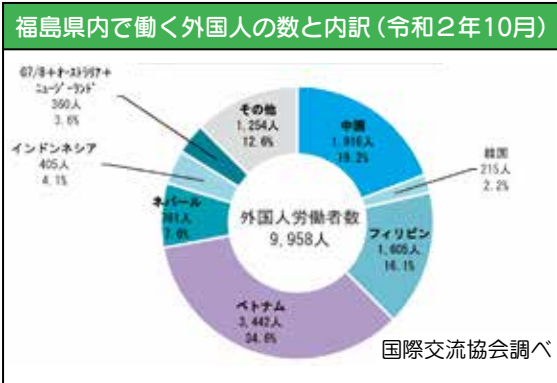
9 特色ある地いきと人々のくらしーふるさと福島の

(2) 国際交流に取り組むまち・郡山市

明治時代のはじめに「安積開拓」が行われた郡山市。江戸時代に武士として活躍していた人たちが郡山に集まり、多くの荒れた土地を開拓していきました。しかし、開拓した土地は、阿武隈川よりも高い場所にあり、水を引くことができません。困った人たちは、郡山より高い場所にある猪苗代湖から水を引くことを考えました。

そのときに、協力した人がオランダ人技師の「ファンデルン」です。このときがきっかけとなり、郡山市はオランダとの交流を深め、2020東京オリンピック・パラリンピックではホストタウンとして登録しました。小学生や中学生の交流もさかんに行われています。

郡山市には、多くの外国出身の住民が住んでいます。生活するときに困らないよう、国際交流協会や関係する団体と協力しながら、イベントや説明会を開催し、かいてきに過ごせるような工夫をしています。市役所にも外国人専用窓口がつけられ、初めて日本に住む外国の方も安心して手続きができるようにしています。



約10000人の外国の方が福島県内でお仕事しているよ。いわき市や広野町にも住んでいるね。広野町では「2020東京オリンピック・パラリンピック」でアルゼンチンやインドネシアの方と交流したよ。



郡山市国際交流協会の方のお話

交流協会は1990年（平成2年）にできました。外国との交流を深めたい方ならだれでも入会することができます。現在は約150名の人、約90の団体が入っています。市役所と市民が協力して、外国の文化を体験したり、言葉を学んだりする活動を行っています。

最近では、外国人向けの日本語教室や簡単な日本語を使った料理教室を行いました。多くの国の方が交流を深め、日本人も外国人もみんなが住みやすい郡山市になるようにがんばっています。



(3) 美しい自然を生かすまち・南会津郡檜枝岐村 みなみあいづぐんひのえまたむら

群馬県片品村から通ずる道が通っていた檜枝岐村は昔から関東地方とつながりがあり、江戸時代から物や文化の交流が行われていました。檜枝岐村にある尾瀬ヶ原では、昭和時代に水力発電所をつくる計画がありましたが、尾瀬の自然を残そうとする住民や登山家たちの活動により、自然が守られてきました。

尾瀬は、その後も利用する人がふえたことで、植物や生物がうまく育たない、ゴミが放置される、新しい道路をつくる計画ができるなど、新たな問題も出てきました。しかし、そのたびに植物を植え直したり、ゴミ持ち帰り運動を行ったりする取り組みが行われ、尾瀬の自然は守られてきました。村役場や観光協会の方だけではなく、ボランティアでゴミ拾いをしたり、歩道を整備したりする方によって、自然を守る活動が行われています。

こうした取り組みは、日本で初めてのものが多く、全国的に広まったものもあることから、尾瀬は「自然保護運動の原点」ともよばれるようになりました。

檜枝岐村には、全国から多くの観光客が訪れます。そのほとんどが「もう一度行ってみたい」と何度も訪れる方たちです。270年以上続く「檜枝岐歌舞伎」を楽しみに訪れる方もいます。檜枝岐村は、美しい自然を守るために、多くの「檜枝岐ファン」に支えられながら、魅力ある村づくりをしています。



おせ
尾瀬ボランティアの方のお話

尾瀬の美しい自然は、たくさんの人によって支えられていますが、私たち「尾瀬ボランティア」もその一人です。活動内容は大きく2つに分けられています。

1つ目は「自然を守る活動」です。入り口で尾瀬を歩く上でのルールやマナーを説明したり、ゴミ拾いや尾瀬以外から持ち込まれた植物を取り除いたり、シカ柵を設置したりしています。どれも自然を守るために大切な活動です。2つ目は「自然のよさを伝える活動」です。登山する人を案内しながら、自然について解説し尾瀬のよさを伝えています。

お金をもらって行う活動ではありませんが、ボランティアの仲間と自然について教え合ったり、登山する人に「ごくろうさま」と言われたりするのを楽しみで続けています。

【巻末資料】東日本大震災後から現在までの歩み

年 月 日	広野町の学校園にかかわるできごと
H23. 3. 11	<ul style="list-style-type: none"> ・14時46分 東日本大震災発生 ・小学校全児童数：311名 ・中学校全生徒数：230名
H23. 3. 13	<ul style="list-style-type: none"> ・11時00分 ・全広野町民に避難指示を発令（町長発令）
H23. 3. 14	<ul style="list-style-type: none"> ・役場機能及び災対本部を小野町町民体育館へ移転
H23. 3. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業式及び修了式の中止を指示
H23. 4. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・福島高専に小中学校教職員詰所設置 ・小学校全児童数：289名（区域外就学先学校数 県内：51校 県外：64校） ・中学校全生徒数：183名（区域外就学先学校数 県内：15校 県外：17校）
H23. 4. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・役場機能及び災対本部をいわき市湯本に移転
H23. 4. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時避難準備区域に指定される（広野町全域）
H23. 7. 15	<ul style="list-style-type: none"> ・広野小児童・保護者に対し、いわき市立中央台南小学校での間借り開校、中央台南小学校内広野小学校への通学意向調査（アンケート）実施
H23. 7. 23	<ul style="list-style-type: none"> ・湯本支所で平成22年度広野小学校卒業式
H23. 8. 10	<ul style="list-style-type: none"> ・広野小学校児童・保護者への開校説明会
H23. 8. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・中央台南小学校内での広野小学校再開（開校式） ・再開時児童数：65名／289名 ・スクールバスは全4コース（4台）
H23. 8. 29	<ul style="list-style-type: none"> ・中央台南小学校児童との対面式
H23. 9. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・広野中学校生徒を受け入れている全国の中学校長に対し、学校再開を通知
H23. 9. 9	<ul style="list-style-type: none"> ・湯本第二中学校内広野中学校への通学意向調査（アンケート）実施
H23. 9. 30	<ul style="list-style-type: none"> ・広野中学校生徒保護者に対し、湯本第二中学校での再開に係る説明会を実施
H23. 10. 3	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時避難準備区域解除 ・湯本第二中学校での広野中学校再開（開校式） ・再開時生徒数：18名／183名 ・スクールバスは全3コース（3台）
H24. 3. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・役場機能及び災対本部を広野町に戻す
H24. 3. 31	<ul style="list-style-type: none"> ・避難指示解除（町長発令指示解除）
H24. 4. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・入学式
H24. 4. 25	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の広野町帰還に関する協議
H24. 6. 2	<ul style="list-style-type: none"> ・広野町での学校再開に関する保護者説明会（～3日）
H24. 6. 22	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対し、広野町での学校再開を通知 ・広野町にて再開させる学校への通学意向調査（アンケート）実施



地震発生直後の二ツ沼公園付近の国道6号線



湯本支所での卒業式



広野町での学校再開(平成24年8月)

年 月 日	広野町の学校園にかかわるできごと
H24. 8. 27	<ul style="list-style-type: none"> ・広野町学校等（児童館・保育所・幼稚園・小学校・中学校）の合同再開式 ・幼稚園：4名 ・小学校：65名／267名 ・中学校：31名／167名 ・スクールバスは全9コース（9台） 【内訳】 町内：2コース（2台）、町外：7コース（7台）
H24. 9. 10	・広野町立幼・小・中学校合同防災教室（原発事故を想定した合同避難訓練）
H25. 4. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度入学式・第1学期始業式 ・幼稚園：24名／77名 ・小学校：69名／265名 ・中学校：41名／151名
H25. 5. 2	・広野町立幼・小・中学校合同防災教室（地震及び原発事故を想定した合同避難訓練）
H25. 8. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学期始業式 ・幼稚園：28名／77名 ・小学校：74名／265名 ・中学校：42名／151名
H25. 12. 3	・福島県知事、県議会にて中高一貫校を広野町に設置することを表明
H26. 4. 7	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度入学式・第1学期始業式 ・幼稚園：39名／97名 ・小学校：91名／241名 ・中学校：50名／143名
H26. 7. 14	・広野町、福島県教育委員会と中高一貫校に係る相互協力・連携に関する協定を締結
H26. 6. 28	・首都圏の大学生（AAO）による広野中学校学習支援事業（町営学習塾）を開始
H26. 8. 3	・震災以降不在だったALTガイギリスより着任
H26. 8. 6	・福島県知事、中高一貫校名を「ふたば未来学園高等学校」と発表
H26. 8. 9	・広野町再会交流事業「集まれ！！ひろのっこ」を開催
H26. 8. 25	・ふたば未来学園高等学校が広野中学校を仮校舎とすることに伴い、広野中学校が広野小学校北校舎にて開校
H27. 4. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度入学式・第1学期始業式 ・幼稚園：46名／99名 ・小学校：110名／213名 ・中学校：66名／144名
H27. 4. 8	・広野中学校を使用して「ふたば未来学園高等学校」が開校
H27. 8. 20	・広野中学生海外教育交流派遣事業を再開（訪問国：カナダ）
H28. 4. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度入学式・第1学期始業式 ・幼稚園：51名／92名 ・小学校：142名／210名 ・中学校：69名／132名
H29. 4. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度入学式・第1学期始業式 ・幼稚園：54名／90名 ・小学校：143名／187名 ・中学校：83名／121名
H30. 4. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度入学式・第1学期始業式 ・幼稚園：67名／99名 ・小学校：153名／188名 ・中学校：66名／89名
H31. 3. 28	・広野中学校が本校舎にて再開
H31. 4. 6	<ul style="list-style-type: none"> ・広野町立広野こども園開園 ・平成31年度入学式・第1学期始業式 ・小学校：161名／190名 ・中学校：76名／92名 ・広野小中学校2km圏内において徒歩通学再開 ・町内遠距離地域のみスクールバス5コース運行
H31. 4. 8	・福島県立ふたば未来学園中高一貫校開校



広野中学校入学式(平成31年4月)

学び方コーナー

こんなときどうする？

- ①直接質問をしたりお話を聞いたりしたい。…電話，インタビュー
- ②遠くの人に質問したい。……………電話，オンライン会話，手紙，電子メール
- ③見学のやくそくをしたい。……………電話，電子メール
- ④必要な資料を送ってほしい。……………電話，手紙，電子メール，ファックス
- ⑤たくさんの資料や情報を集めたい。……………インターネット，図書館（室）

【Ⅰ 電話のかけ方】

(1) 電話番号を調べる。

- ①資料集（この本）の「連絡先一覧」を見て確認する。
- ②インターネットで調べたい「ひと・もの・こと」についての単語を入力する。

(2) 電話で話す原稿を作る。

- ①もしもし，〇〇さんですか。今お時間よろしいですか。
- ②こんにちは。私は広野町立広野小学校〇年の〇〇 〇〇です。
- ③今，……………について勉強しています。
（例1）いくつか質問させていただいてもよろしいでしょうか。
まず，はじめに……………。2つ目は……………。
- （例2）……………について詳しい資料を送っていただけますか。
（送っていただけるならば，その方法をお聞きする）
- （例3）見学させていただきたいのですが，よろしいでしょうか。
いつ，おうかがいすればよろしいでしょうか。
- ④おいそがしいところ，お時間ありがとうございました。



(3) 電話をかけて話をする。（最後に，必ずおれいを伝えます）

【Ⅱ 手紙・電子メール・ファックスの書き方】

(1) 聞きたいこと・必要なことを文章に書く。

- 次のことに気をつけて文章を書きます。
- ①あいさつ（季節のあいさつも入るとなお◎）
 - ②自己紹介（学校名・学年・名前）
 - ③聞きたいこと・確かめたいこと
 - ④お願いしたいこと
 - ⑤おれい
 - ⑥相手の名前と所属先（手紙の場合は，相手の郵便番号・住所を封筒の表に書く）
 - ⑦自分の名前と所属先（手紙の場合は，自分の郵便番号・住所を封筒の裏に書く）

もう一度読み返してみて
「文字のまちがいはないか」
「相手にうまく伝わるか」
を確認してみようかな。



〈お手紙の例〉

〇〇センターのみなさん、こんにちは。

わたしは、双葉郡広野町立広野小学校〇年〇〇 〇〇です。

今、私たちのクラスでは、〇〇センターについての勉強をしています。勉強をしていて分からないことがありましたので、お聞きしたいと思います。

①

②。(聞きたい内容を書く)

お仕事のおいそがしいところ、もうしわけありませんが、よろしくお願ひいたします。

※資料を送ってもらうときには「切手のはってある返信用封筒」を入れます。

その時は、封筒のうらに「自分の郵便番号、住所、名前」を書きます。

電子メールの場合は、文章の下に「自分の名前、住所、連絡先」を書きます。



(2) おれいの文章を書く。

〈お手紙の例〉

校庭の木々も赤や黄色に色づきはじめ、秋を感じる季節になってきました。

〇〇センターのみなさん、お元気ですか。わたしは、先日連絡させていただいた(見学させていただいた)双葉郡広野町立広野小学校〇年〇〇 〇〇です。

先日は、質問にこたえてくださり(資料を送っていただき)(見学させていただき)本当にありがとうございました。おかげで次のようなことがわかりました。

①

②。(聞きたい内容を書く)

これからももっと〇〇〇〇について勉強して行きたいと思います。ありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。

令和〇年〇月〇日

広野町立広野小学校〇年 〇〇 〇〇

※ファックスや電子メールを送るときは、その前かその後に電話で相手に連絡します。

【Ⅲ 見学・インタビュー・オンライン会話の仕方】

(1) 見学やインタビュー、オンラインで話す前の準備をする。

〈計画を立てる〉

①いつ、どこへ行くのかを確認する。

②見てくること、質問することをまとめる。

(短い言葉でかじょう書きにしておく)

③インタビューしたいことに関係することを事前に自分で調べておく。

※事前に「行く日」「時間」「聞きたいこと」を相手に伝えておく。

メモをするときに消しゴムで文字を消す時間がもったいないね。消しゴムのゴミを見学先に落としてくることにもなっちゃうよ。

〈準備する物〉

①メモ帳・えんぴつ

(消しゴムや筆箱は持っていない。)

②学習用のタブレット など

(写真撮影用、記録用)

(2) インタビューの例

〈あいさつをする〉

「こんにちは。広野町立広野小学校〇年の〇〇 〇〇です。」

〈目的を話す〉

「今、〇〇〇〇について調べています。」

〈インタビューして良いか聞く〉

「いくつかお聞きしたいことがあるのですが、お時間よろしいですか。」

〈インタビューを始める〉

「〇〇について知りたいのですが、教えてください。」

「ありがとうございます。〇〇についてはどうですか（どうなりますか）」

※一回の質問で一つのことを答えられるようにお聞きする。

※わからないときには、もう一度お聞きする。

〈おれいを言う〉

「どうもありがとうございました。」



(3) おれいの手紙を書く。

学習が終わったら、学習したことや自分の感想・考えを書いたり、まとめた作品（パンフレットや新聞等）のコピーを入れたりして、おれいの手紙を出します。

※見学やオンライン会話を行うときのポイント

①説明してくださる人のお話をよく聴く。

②見たもの、聞いたものを全部メモしてくる。

③写真や動画を撮影（録画）するときには、「撮影（録画）してもいいですか。」と聞いてから行う。

【IV インターネットを使っての調べ方】

(1) 調べるためのページを開く。(例：yahoo, Google, Safari など)

(2) 調べることに関係する「キーワード」を決める。

(3) 調べるページに「キーワード」を入力する。

(いくつかの短いキーワードを合わせて入力した方がページを探しやすい)

〈例〉「広野町のみかんがいつからつくられるようになったのかを調べたい」場合

→「福島 広野町 みかん いつ」のように短い言葉で入力

(4) 検索された中からサイトを選ぶ。

〈選ぶポイント〉 ①上から3つから5つ

②更新された月日の新しいもの（最新のものの方がいいですね）

③どこかの研究所や県庁、役場などの公式なサイト

(5) 絵や写真、グラフなどを使う場合には、必ずどこのサイトから引用したものを示すように心がける。(写真の下に「〇〇〇のページより引用」のように書く)

(6) サイトの文章をすべてコピーして使うのではなく、自分の言葉でまとめる。

(7) ウイルスに感染する危険があるので、必要のないサイトは開かないようにする。また、すべての情報が正しいとは限らない。不安な場合は別なサイトでも調べてみる。



もっとくわしく調べたいときに

「もっとくわしく教えてほしい」「写真に写っている場所に実際に^{じっさい}行ってみたい」「担当^{たんとう}の方と直接お話をしてみたい」など、もっとくわしく調べるために連絡先^{れんらくさき}をまとめました。ぜひ、学校^{がっこう}の中だけではなく、^{ひろのちやうない}広野町内や^{ふくしまけんない}福島県内にとび出して学習^{がくしゅう}しましょう。

施設名 ^{しせつめい}	住所 ^{じゅうしょ}	電話番号 ^{でんわばんごう}	学習 ^{がくしゅう} に関する担当内容
総務課 ^{そうむか}	〒979-0402 広野町大字下北迫 字苗代替35 (広野町役場内)	27-2111	・町の予算や決算 ・町民バスや住宅管理 ・広報やホームページ 等
復興企画課 ^{ふっこうきかくか}		27-1251	・まちづくりの計画 ・広野イオンの管理 ・ひろの童謡まつり ・復興に関する工事 等
町民税務課 ^{ちやうみんぜいむか}		27-4160	・税金や転入・転出に関わる内容 等
健康福祉課 ^{けんこうふくしか}		27-2113	・住民の健康・福祉に関する内容 ・放射線に関する内容 等
こども家庭課 ^{かていが}		27-2115	・こども園や児童館に関する内容 ・キッズゾーン設置 等
環境防災課 ^{かんきやうぼうさいか}		27-2114	・自然災害に関する内容 ・交通・防犯に関する内容 ・ごみ収集に関する内容 ・防災備蓄倉庫の管理 等
産業振興課 ^{さんぎやうしんこうか}		27-4163	・農業に関する内容 ・商工業・観光に関する内容 ・サマーフェスティバル 等
建設課 ^{けんせつか}		27-4161	・道路や橋に関する内容 ・下水道に関する内容 等
出納室 ^{すいとうしつ}		27-4164	・お金の支払いに関する内容
議会事務局 ^{ぎがいじむきよく}		27-4165	・議会に関する内容
農業委員会事務局 ^{のうぎやういいんかいじむきよく}		27-4163	・農業に関する内容
教育委員会学校教育課 ^{きやういくいいんかいがっこうきやういくか}		27-4166	・学校教育に関する内容 ・町の歴史に関する内容 ・文化財に関する内容

施設名	住所	電話番号	学習に関する担当内容
教育委員会生涯学習課 (公民館)	〒979-0408 広野町中央台1-1	27-3244	・公民館に関する内容 ・成人式や文化展 等
双葉地方水道企業団	〒979-0515 檜葉町大字上埜字小山6-2	25-5315	・小滝平浄水場 ・上水道に関する内容 等
双葉地方広域市町村圏組合 南部衛生センター	〒979-0606 檜葉町大字上繁岡 字山神160-2	25-4609	・ごみの処理に関する内容 ・ごみのリサイクル 等
二ツ沼総合公園 (株) 広野町振興公社	〒979-0402 広野町大字下北迫 字大谷地原65	27-2131	・二ツ沼総合公園に関する内容 ・広野町のバナナ栽培 等
富岡警察署広野駐在所	〒979-0402 広野町大字下北迫 字苗代替4-1	27-3225	・事故や事件を防ぐ仕事に関する内容 等
富岡消防署檜葉分署	〒979-0513 檜葉町大字山田岡 字仲丸1-110	25-2119	・火災予防や消火活動に関する内容 等
広野町商工会	〒979-0403 広野町大字下浅見川 字桜田40	27-2312	・広野町の商店街に関する内容 ・暮市に関する内容 等
広野町観光協会 (産業振興課内)	〒979-0402 広野町大字下北迫 字苗代替35	27-4163	・広野町の観光に関する内容 等

この資料集を使うみなさんへ

みなさんが生活する広野町は、2011年に東日本大震災がおき、そのときの原子力発電所の事故により、この町で生活することができない時期がありました。住民が生活しない時期が続くと、これまで普通に行ってきた生活や伝統行事、お祭りなど、これらを再開することがとても難しくなってしまいます。

しかし、東日本大震災から11年が経過した現在、広野町では多くの人たちの努力や支えにより、それらの多くが東日本大震災前に戻りつつあります。小学生をはじめ、この資料集を使うみなさんには「当たり前のように行われている生活、当たり前のように目にする風景」の中に多くの人たちの思いや願いが込められ、多くの工夫や努力により実現されていることを知ってほしいと思います。広野町には、みなさんの学習に協力してくれる人がたくさんいます。この資料集をきっかけにしながら、少しでも興味をもったことに対して、自分から地域に働きかける子どもたちがふえることを願っています。

資料提供・協力

企画・編集 広野町地域学習教材作成委員会

福島県	広野町環境防災課	富岡警察署広野駐在所
福島県国際交流協会	広野町産業振興課	富岡消防署檜葉分署
郡山市	広野町建設課	広野町観光協会
いわき市	広野町農業委員会	大和田測量設計
会津若松市	広野町教育委員会	新妻有機農園
白河市	学校教育課	イオン広野店
田村市	生涯学習課	セブンイレブン福島広野店
下郷町	広野町公民館	プロジェクトFUKUSHIMA in 広野
檜枝岐村	双葉地方水道企業団	小貫 春夫
相馬野馬追執行委員会	小滝平浄水場	
会津本郷焼事業協同組合	双葉地方広域市町村組合	
大堀相馬焼協同組合	南部衛生センター	
広野町総務課	(株)広野町振興公社	順不同
広野町復興企画課	トピカルフルーツミュージアム	敬称略
	広野町商工会	

広野町 社会科（地域学習）資料集（第1版） わたしたちのふるさと 広野町

発行日	令和4（2022）年3月31日
企画・編集	広野町地域学習教材作成委員会
監修	広野町教育委員会教育長 根本 修行 教育次長兼学校教育課長 加賀 博行
編集委員	広野町立広野小学校 教諭 鈴木 貴士（第3学年担任） 同 教諭 岩淵 実紀（第4学年担任） 広野町立広野中学校 教諭 佐藤 悦夫（社会科担当） 学校教育課 指導主事 渡邊 智幸（執筆責任者）
発行	福島県双葉郡広野町教育委員会 〒979-0402 福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35番地 ☎0240-27-4166



ひがしにほんだいしんさいご かんせい ぼうさいりよくち ひろのえきひがしがわ ようす
 東日本大震災後に完成した防災緑地と広野駅東側の様子



こくどう びやうせん み おか
 国道6号線から見える「みかんの丘」



ちい き じゆうみん あつ しもきたば じぞうさま
 地域の住民が集まる「下北迫のお地蔵様」



広野町イメージキャラクター
 「ひろぼー」

【町の木】



桜 (サクラ)

【町の花】



山百合 (ヤマユリ)

【町の鳥】



目白 (メジロ)

名前